

まちづくりの正体 発見!

【総会】

【記念講演会】

【鼎談】特集

20130525



撮影／鳥居



☆☆活動報告☆☆

- 5月26日 ROBA 総会 藻谷浩介氏講演会
- 31日 IRE 懇話会
- 6月14日 えちぜん鉄道 株主総会
- 19日 例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

6月21日(金) 福井鉄道 株主総会

6月26日(水)

福井市地域公共交通活性化協議会(福井市)

29日(土) 鯖江市環境フェア

7月6日(土)

シンポ「コンパクトシティの創出とヨーロッパモ
ビリティウィーク&カーフリーデー」(京都市)

12日(金)～13日(土)

JCOMM 会議(仙台市)

17日(水) 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

なぜタクシーは動かなくてもメーターが上がるのか
(副題)経済学でわかる交通の謎 竹内健蔵

NTT 出版 1900円+税

久々に胸のすく思いを得た交通政策本である。タクシーの料金だけでなく、鉄道の料金、航空機の料金、鉄道の混雑、ちょっと考えると解決しそうでなかなか解決しない諸問題の構造が経済学的に解明されている。説明に数式等は用いられていないが、機会費用、インセンティブ、共有地の悲劇など、市場経済、外部効果、公共財などが自然に理解できるよう工夫されており、単なる読み物としても、交通問題で論陣を張りたい人にも大いにお勧めしたい。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成 25 年度 ROBA 定例総会を終えて

平成 25 年 5 月 26 日第 13 回定例総会を開催いたしました。2001 年が発足の年なので本年 2013 年は 13 回目となる。年度がその回数となるので分かりやすい。途中 NPO 法人になるための臨時総会を開催しているが、定例となると 13 回であろう。最近マンネリ化の傾向は否めないが、これまできちんと前年の総括をし、次年の事業計画と予算立てて運営をしていることに驚きを隠せない。

他人事のようだが、設立当時のことを考えるとそう思わざるを得ない。「設立当時のことを…」というのは、その時はみんなのノリが凄くて、まさに勢いであつという間に市民団体が出来上がってしまった感を持っているからだ。あまり先のことを考えず、とにかく「今だ、今行動しなければいつ行動する」という勢いであつたと記憶している。

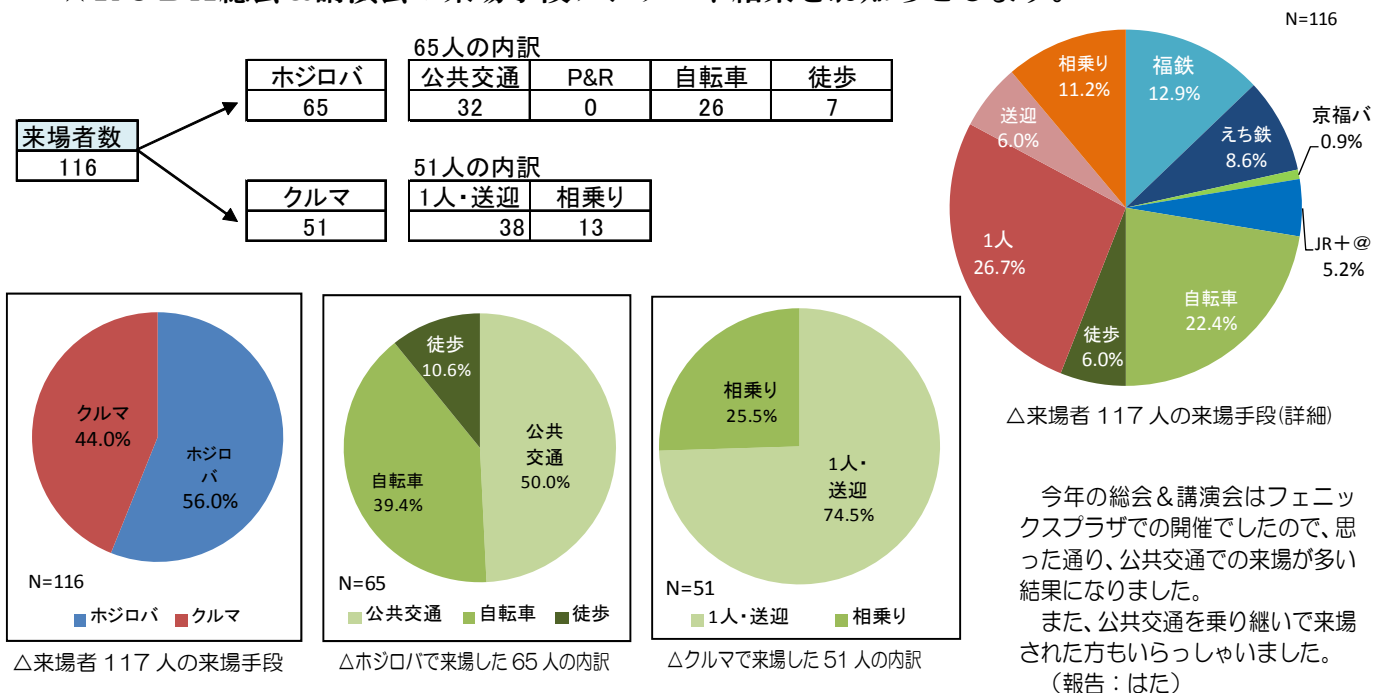
ほかの NPO 法人や市民団体の内情までタッチするつもりはないが、しっかり自立して行政や他の団体とも協働し市民・社会にもきちんと伝える努力を継続して行っている団体はそう多くはない。ROBA 会員のみなさんや理事全員に感謝しています。また、その時々行政担当者も理解があり相互に支えあうという関係が、良く言えば阿吽の呼吸でできていたのではないかと思います。

最後に総会終了後に開催している記念講演会の最近のシリーズものを以下に整理してみました。そろそろ、ROBA の考える LRT 構想を市民に発信する 때가来たのかなと考えています。

《地域交通を考えるシリーズ》

- 第 1 弾 平成 23 年 5 月 22 日「みんなで育てよう、もっと便利な鉄道」
波床正敏氏（大阪産業大学 工学部 都市創造工学科教授）
- 第 2 弾 平成 23 年 9 月 17 日「交通まちづくりの新展開」
宇都宮浄人氏（関西大学 経済学部教授）
- 第 3 弾 平成 24 年 5 月 27 日「まちづくりと公共交通、富山からの情報発信」
室 哲雄氏（富山ライトレール(株) 経営企画部長）
- 第 4 弾 平成 25 年 5 月 26 日「福井の LRT とまちづくり」
藻谷浩介氏（(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員）

★ROBA 総会&講演会の来場手段アンケート結果をお知らせします。



藻谷浩介氏講演会「福井の LRT とまちづくり」を振り返る

5月26日、ROBA 定例総会のあと開催された藻谷浩介氏講演会「福井の LRT とまちづくり」の要旨をまとめた。藻谷さんからは多くの示唆と刺激を頂いた。ここに、講演会を振り返りたい。（清水）

■藻谷浩介氏講演要旨

福井のまちづくりをこれまで横から見てきた。福井の特徴は、先進地域であり気づくのが早い。しかし豊かなため、動くのが遅い。最初に気が付いて、多くの人が気づくまで時間がかかる。ただ、やるとなったらやる —ということ。「LRT とまちづくり」がなぜ重要なのか話したい。



人口が減少しているのは福井だけではない。日本だけでもない。遠からず韓国も中国もそうなる。20世紀型地域活性化策とは、①工場を誘致しよう ②郊外農地を区画整理して住宅を建て増やそう ③道路、上下水道、車で行けて無料で駐車できる便利な地域づくりをしよう —というもの。福井は20世紀型地域活性化策を最も実施し最も成功した地域。福井は世帯当たり所得が高いが地元で金を使わず他県で使う。福井は中心市街地だけでなく、郊外商業施設も元気というわけではない。元気に活動している人が見えないと地域が元気に見えない。元気な人が元気に活動しているのが見える街がない地域は、中心市街地も郊外もだんだん元気がなくなっていく。不景気だから街がさびれているのではない。どこでも無料駐車場をつくれるスカスカのまちづくりを完成させてしまったこと、薄く広く散らばって住む地域を作り上げてしまったことが原因。団塊の世代は兄弟が多く二人に一人家がなかった。土地区画整理はそのころの政策。もう家が余っている。家を買う人がいない。現状は、景気が悪いのではなく人が減っているのが原因。平成7年が人口のピーク。そこまでは現役世代が倍増した戦後半世紀。平成7年から平成22年までに既に6%減少。現役世代半減の今後半世紀が始まっている。今後、一部の地域に人が集まって住む時代に戻っていく。そうしないと大変なことになる。福井では2010年から20年で人口

が1万1千人減少する。0~14歳がマイナス13%、15~64歳がマイナス13%、65歳以上がプラス21%（内、75歳以上がプラス25%）。福井では現役が減り高齢者が増える。関西もほぼ同じ傾向。ただ、狭いところに集まって住んでいるから賑わいがある。福井は土地が広いところに広がって住んでいるから賑わいがない。経済はすなわち人口。韓国も20年遅れで人口が減り高齢者が増える。アジアはLRT導入が増えていく。2040年、85歳以上が2割を超す。無視できない。運転ができなくなるが移動手段さえあれば街に出て賑わいになる。「家も職場も郊外、皆が自家用車で動く地域に」「採算の取れない鉄道は廃止して道路網の充実に注力する」という20世紀型まちづくりは終わり。歩行者による賑わいを失うと経済活力も去っていく。現役世代減少・後期高齢者増加で空地空き家が急増する。道路・上下水道をメンテする資金が足りなくなっていく。道路こそ採算が取れていない。膨大な税金を投入している。鉄道は面積あたりのコストが低く輸送人員が多い。対処間違えるとゼロ・モビリティ状態に陥り経済活力が低下し医療費が増加する。21世紀型まちづくりとLRTが必要である。LRTを走らせることに意義があるのではなく、その沿線に住宅や諸機能を集中させていくことに意義がある。特に重要なのは、市街地（電車があって乗ろうと思えばすぐ乗れる）で暮らすクリエイティブな人の増加、そうした層を客層とした市街地飲食業の復活。東京で起きているのはこれである。重要なのは移動手段に車以外のオプションのある地域づくりである。別に全員を電車に乗せる必要はない。選択肢があることが重要である。乗る人を増やすためにパーク＆ライド駐車場を整備し、病院、学校を沿線にちゃんと移転集中させよう。富山に市電が残り黒字になっているのは沿線に高校・大学・病院が集中していたから。ひたちなか海浜鉄道が残ったのは病院やショッピングセンターが駅徒歩3分のところに有って機能していたから。移動手段を失って家でテレビを見ているより、子供が遊ぶ風景のなかで電車を待つ方が幸せ。幸せな空間を街のなかに創れるかどうか皆さんの勝負である。福井ではLRTをめぐる対立があったが、そろそろ手を結ぶ頃である。結論は明らか。街の中を賑わわせるにも、高齢者が元気に暮らすにも、市電ぐらい有った方がいいぞという風になってきている。最近行った米オレゴン州ポートランドでも軌道が増えている。走っていることが目的ではない。それが新しい開発を誘発し、沿線に住む人も増えている。

■藻谷浩介氏、岩崎正夫氏、三寺潤氏鼎談

岩崎：4月までまちづくり福井に在籍。まちの担い手プロジェクトをStudio-Lと共催。20名程度を見込んで募集したが90名来た。終了後の現在もそのなかから6グループが活動中。“市民主体”はこれからの中心となる動きと考えられる。福井駅前商店街への来街消費者の78.9%が自家用車で来街。公共交通は10.7%で、商業者は自家用車で来街する8割をターゲットにしたいと考える実態がある。西武周辺の駐車場に車を停めた人の移動は西武本館・新館で完結し外に流れていない。AOSSAも駅近辺のみ。コミュニティバスすまいるは平成12年から運行。4ルートで1日90便。年間50万人が利用。平成19年がピークで54万9千人。現在1割減少し50万人を切る。店と協力しまちなか観光マップの作成も実施している。平成22年総務省の支援でICカードを導入。鉄道から乗り換えると割引など、他の交通と連携させ、また交通だけでなく商業系としても使えるよう電子マネーの機能を入れた。2000円買うと店で駐車券を発行していたのを、各店の買い物の合計での発行などデジタルによる処理できるようにした。トータルなサービスで、いろいろな手段を使って街へ来た人に街全体でサービスできるしくみを作った。民間ではできないことをまちづくり会社で実施した。昔は電車通りの正面が福井駅であり、交通結節ができていた。

三寺：大阪の設計事務所に勤務して建物の意匠だけでなくまちづくりを志向し福井に戻り大学院に。路面電車とまちづくりフォーラム参加を機に、「路面電車は必要。路面電車を中心にまちづくりをしよう」

と、有志で ROBA を立ち上げた。2000 年当時、鉄道・バス路線すべてを網羅した路線図が福井にはなかったので『ふくいのにりのりマップ』を発行。一方、大学の研究では「地方鉄道の価値に関する研究」を実施し、沿線住民の意識を調べた。えちぜん鉄道は利用者が当初の想定を上回る増加。平成 23 年 11 月の 4 日間、市街地・郊外の 10 駅を対象に、駅から 500 メートルの駅勢圏で、非利用者含め沿線住民にアンケートを実施したところ、直接便益以外に鉄道の存在自体を通して路線に価値を認識していることが分かった。回答者の 8 割が車を利用でき、回答者の 4 割がえちぜん鉄道を利用。公共交通拘束者は 3%のみ。利用意向では、「変わりなく利用」が 25.2%、「条件次第では今以上に利用」が 16.3%、「非利用だが条件次第で今後利用」は 45.2%だった。えち鉄の価値認識では、利用者の 8 割、非利用者の 6 割が価値があると回答。現在の公的負担は利用者の 9 割、利用意向ない人も 8 割が受容している。負の負担価値として認識しているのはわずか 2 割、非利用者でも 35%に留まる。市民の意識醸成は確実に進んでいると実感した。

藻谷：福井は面白い地域。見かけは超地味、中身は先進地。フォーラム多く参加も多い。ハードもソフトも実施。えち鉄の乗客も増えた。えち鉄の運営経費は年間数億。家 10 軒分。ホール 1 個分。福井は金の勘定ができる。

岩崎：認識が高いわけではないというのも現実。



藻谷：上下水道のメンテナンスは非常に金がかかるが、その整備を誰も反対しない。小学校、土地区画整理も。交通事故で亡くなる人が実質 1 万人近い。皆が税金の投下に反対しない道路、上下水道、ダムより金のかからない公共交通への税金投下を肯定する人はもっと居てもよい。

岩崎：自分にとってどうかという基準しか持っていないと難しいかもしれない。

藻谷：公共交通への税金投下に反対する人には合理的な基準がない。

三寺：福井はえちぜん鉄道と福井鉄道の存廃問題を乗り越えた経験があるが、その経験を活かしているかどうか。例えば施設の入口が駅とは反対を向いている。向かう方向を直せるのが難しい。

藻谷：大きな方向転換がないときに、ソフト事業をやるのは大変だったのではないか。

岩崎：多くの人が思っていること、やりたいことと、大きな流れが逆のことが多い。

藻谷：最近の面白い事例。富山の立山町はコミュニティセンター（医療・福祉・図書館）を五百石駅前に建てた。駅前への建設に反対が起き、そのために選挙もした。できてみれば苦情は全くない。中心市街地に公共施設を造ることを郊外が反対する事例が多い。こういうことを早く無くしたい。微妙ながらコンパクトシティ政策。全員から一番近く、公共交通もある中心市街地に投資することが一番良い。

岩崎：まだ反論が見込まれる。まちなかだから金使ってよいということが通らない。

三寺：藻谷さんの『デフレの正体』を読んだ。問題が個人個人に差し迫っている。

藻谷：高齢者の大幅増、生活できない地域増ということを見面に考えるべき時期に来ている。

岩崎：しかし、車の安全機能が向上し、ますます車を手放せない環境になっている。

藻谷：山口では公共交通が使えなかった。東京へ出て、結婚してから車を持たない。運動として歩く生活。歩かないと明らかに体の調子が悪い。歩くのはちょっと慣れると楽しい。車だと行動も限定される。

内田：歩いて暮らせるまちづくりの啓発は重要。FUKURAMU が導入され、注目が集まっている。福井はいよいよ LRT 時代へ入っていく。今後どうするか。推進のためにどのようなことができるか。

三寺：LRT という LRV に注目が行く。LRV だけでなく、バス・鉄道含めた全域という考え方を LRT のシステムとして住民にわかってもらう必要がある。

藻谷：FUKURAMU を駅前を見た。富山よりもう一段お洒落だ。乗っている人も誇らしげ。FUKURAMU が入り、駅前電車通りが急にキラキラした。LRT のシステムが導入されると「電停前」というマンションが高くなるもの。福井ではどうか。

岩崎：まだそこまではなっていない。福井はまだ駐車場完備の方が基準。広告では病院や商業施設から何分ということが中心になる。

藻谷：LRT は沿線に病院・店等が集中しているという意識が持たれる。沿線なら他より価値が落ちないという意識。富山のセントラム沿線はその兆しがある。富山もセントラム沿線のマンションが売れている。富山で一番最後まで生き残る街との認識があるようだ。福井も沿線の価値が下がらないとの認識が生まれれば、LRV が LRT として認識されたという証拠になる。

岩崎：システムとして成り立たせるためには、乗り換えの場所・時間、費用等公共交通の連携や駐車場との連携が重要だ。LRV だけだと伸びしろが見えず、その先へつながらない。

藻谷：見えないところで構造が変わる。J リーグのチームを持った街では若い人たちの意識が変わる。LRT も同様に若い人が「うちの街、結構イケてるじゃん」と思うところに持っていけるかどうかだ。高岡はそうになっていないが、富山は宣伝がうまいからポートラム、セントラムがそうなりつつある。

三寺：LRT が走るだけではだめ。ホジロバ全体が重要。意識を含めて変えていく必要がある。

岩崎：駅前電車通りでのイベント時、7 月から西武前仮電停を設置し、アップルロードから大名町交差点方向へ車も通す。歩行者・電車・車が入ってくるようにする。福井のパターンとしていろいろつながればと企画した。7 月、9 月、10 月、西口が整備できるまでの 3 年間。いろいろな選択肢があり、いろいろな活動ができる、いろいろな人に見てもらえる駅前を 3 年間の中で見つけられればと考えている。

藻谷：長年の争いに対する 1 つの回答だろう。最後に皆さんに聞いて欲しい。電車ができたから歩くのではなく、歩く人がどんどん増えているから電車利用増加が成り立つというのが筋だと私は思う。季節限定で結構なので意図的に歩いてみて欲しい。今の生活で 15 分歩くのは皆さんは地獄だと思うだろうが、意外と遠くない。それを実感するところから福井は変わると思う。

以上

私は全国の街をみて歩くことが好きで、これまで出張の合間などに多くの土地を訪ねてきました。その土地で生活する人々と触れ合うことが好きですので、一人の空間に閉じ込められてしまうレンタカーではなくて、なるべく公共交通を利用することを常としています。

時には、車内で乗り合わせた方と会話の始まることもあります。奥羽本線の中での会話では「仙台から〇〇××、弘前▲▲」などと固有名詞しか聞き取れないで往生したこともあります。しかしながら会話がとぎれたときに差し出された、焼するめとコップ酒を飲み交わしたことは、何にも優る旅の思い出です。

また、車窓に流れる眺めはさまざまな想像をかきたてます。駅前から温泉地に向かうバスに乗るお年寄りをみては「あまり大きな荷物をもっていないから、地元の方だろう。いつも車で送ってくれるお孫さんは今日は仕事なのかな」とか、おろしたての制服で緊張した面持ちで乗り込んでくる学生さんに心の中でエールを送ったりと、持参した本をゆっくり読む間もないほどです。

藻谷氏は、魅力ある街とは「暮らし働く元気な人の姿が見れる街」だといいます。もちろん、福井でも郊外のショッピングセンターは大変な賑わいですが、観光客がやってくる場所ではありません。現状は、観光バスで永平寺や東尋坊、一乗谷といった旧所名跡を点と点で結ぶような観光ルートがメインであり、観光客が福井市内を地図を片手に歩いている姿をほとんど見ることがありません。福井で街歩きの楽しさが失われているとしたらとても残念なことではありませんか？そういう点で、中心部を走る福武線は福井の宝の一つであり、もっと全国にアピールしていきたい風景だと思います。

今回の講演で、私は藻谷氏の洗礼をおよそ10年ぶりに受けました。かつて私が在籍した政策学校NPO「一新塾」の1年間のカリキュラムは氏の講義から始まります。この学校は、社会起業や政治を志す方々を対象としており、小さい教室に70名ほどの塾生がひしめきあうような活気ある場でした。軽快で、そして適度に毒もふくみながら地域活性化の秘訣を説く藻谷節は塾生を魅了し、大いに影響を受けたものです。塾生から多くの首長が誕生していますから、彼らが藻谷氏の教えを踏まえて活気ある街づくりの先頭に立っていることを頼もしく感じています。福井も負けてはいません。今回、福井は街づくりの先進地域であるという氏の言葉には大きく勇気づけられました。

最後に、このような機会を与えてくださった藻谷氏とROBAと、改めて深く感謝の気持ちを申し上げます。

まいうー！B級グルメの旅&総会・講演会 善光 孝

毎年、総会の時しか顔を出さない不良会員、富山県高岡市の善光です。今回は福井の方々に教えていただいた B 級グルメめぐりをするため、前日の土曜日に福井県入りしました。

のんびり普通列車で福井駅に降り立ちます。来るたびに工事で変化している駅前を、電車通りへ。そこへやって来ましたオレンジ色の電車！ さっそく試乗。ゆったり広くていいですねえ。自動車の人や歩行者の目線を浴び、ちょっとくすぐったいです。鉄道線は、路盤が整備され、転てつ器も新品の箇所が。安心、安全に向け力が入っているのを感じました。【写真①】

武生ではガソリンスタンドで車を借り、第1弾、ボルガライスのお店に。オムライスの上にとんかつがド〜んと、のっていました！ まいう〜。【写真②】

その後、大虫の滝へ。この滝に打たれると、息災長命になると言われており、さっそく滝修行！ 滝前でお不動様が見守って下さいます。お〜冷たい！ 不思議と腰痛が全快。【写真③】

夕方、林博さんにすすめられた、水彩画“福武線のある風景”を見てきました。いや〜、素晴らしい。わたしの育った新湊の風景画もあり、描かれた佐々木さんとお話ししながら、じっくりと鑑賞しておりました。【写真④】

鯖江に戻りホテルに荷物を置き、グルメ第2弾、さばエドックを。ソースかつ丼を串刺しにしたもの？ なるほど……。まいう〜。【写真⑤】

さらに第3弾は西鯖江駅まん前の小さなお店へ。ビールを飲みながら、お店のご主人、奥さんとワイワイお話をし、ここで注文したのは“熊丼”。ちょっと脂っこい肉ですが、まいう〜でした。お腹いっぱい！ ごちそう様〜！ 【写真⑥】

今、各地で B 級グルメが花盛り。これを町おこしや、公共交通を使つてのイベントに盛り込んだりしている所が多くなって来ました。活用しましょう！

日曜日、ロバ総会。13回目ですか？ いろいろありましたね。えち鉄、福鉄が再生、LRV が走り出し、その内、直通運転も出来そう。その後、どの様に活動するか？ ある程度、目的を達成すると、しぼんで行く団体が多い中、いかに次の活動を見い出して楽しく継続するかですね。

昼は定番、ソースかつ丼をいただき、藻谷さんの講演を聞きます。開演前、座席を詰めなくていいです！・・・と藻谷さん。後からそう言われた意味が分かりましたね。・・・はい、皆さん、中央に詰めて座って下さい！ 低密度の街から、中心地に人を集めるコンパクトシティに・・・なる程・・・。説得力ありますねえ。藻谷さんの講演は最近よく聞きますが、著書“デフレの正体”から、人口構成の変化を基本に、各地の事情を交えてお話しされるので、何回聞いても参考になります。福井の美味しい食事や講演、満足のいく2日間でした。



藻谷浩介氏の講演会に参加して

岸本 雅行

以前に藻谷氏のベストセラー「デフレの正体」を読んだことがあるので、期待して講演会に参加させていただきました。講演は「ふくいの中核都市とまちづくり」という題でしたが、講演内容は生産年齢人口の減少・高齢者人口の激増という「デフレの正体」の本の内容にほぼ沿った話でした。本を読んだ後、藻谷氏の人口問題に関する分析の鋭さに感心したのを覚えています。今回の講演を聞き改めて日本の人口問題の重要性を理解することができました。人口問題に引き続き、日本・アメリカ・ヨーロッパ・アジア各国の貿易問題など国際的視野に立った藻谷氏独特の分析もあり、たいへん興味深く聞くことができました。いつになったらLRTの話が出てくるのかと待っていたところ、ようやく最後にクルマを中心とした「20世紀型まちづくりの終わり」・鉄道を重視した「21世紀型まちづくりとLRT」という内容で締めくくられました。もう少し福井のLRTとまちづくりの話があればよかったですと思いますが、全体的にはたいへん有意義な講演会でした。

福井鉄道の新型車両が3月末から走りだし、福井の中心市街地もようやく活気を取り戻しつつあるような気がします。講演会には予想以上の聴衆が集まり、LRTとまちづくりへの関心が高まっていることが窺えました。この高まりをさらに多くの人たちに広げていきたいと思いました。

福鉄・えち鉄相互乗り入れの準備進む（切符編）

林 博

福井大学で同窓会があり、懇親会ではお酒が出るので福鉄電車で行きましたが、えち鉄電車との乗り継ぎ時間があったので、田原町駅で降りて「雑木林」の様子を見ながら歩いて会場入りしました。

帰りは「福大前西福井駅」で、ちょうど電車が来る時間で福鉄との乗り継ぎもぴったりの電車だそうので、『乗り継ぎ切符』なるものを購入しました。「福大前西福井」「赤十字前」となっており、えち鉄のマークが入って（あたりまえだけど）240円でした。一駅で田原町駅につくと、すでに福鉄電車が待っており、乗継の良さに、いまさらながら相互乗り入れのありがたみを疑似体験することができました。

しかし、福鉄に乗り換えてからは、どう計算するとこの金額になるのか、「福大前西福井」「田原町」150円、「田原町」「赤十字前」170円、短い方が半額なら $170 + (75 \text{ 切上})80 = 250$ 円だし、乗り継いだ分が半額なら $150 + (85 \text{ 切上})90 = 240$ 円か。福井駅前に一旦入って、戻ってからスイッチバックするという一般乗客には不評の運行も気にならず、あっという間に赤十字前駅についてしまいました。調べなくては気が済まず、切符をもらって帰り調べました。



「乗車記念使用済」とハンコを押されました。とくに乗車記念ということもなかったのですが、そういう人が多いのかな？

ひょっとして、私もそうお？

さっそくHPで調べてみましたが、駅間で決めてあるようで一定でもないみたいでした。

詳しくは http://www.fukutetsu.jp/pdf/unchin_renraku_otona.pdf

または <http://www.echizen-tetudo.co.jp/raillway/image/fukutetsu01.pdf>

FUKURAMに乗って、関連イベントの「福武線のある風景」鑑賞

林 博

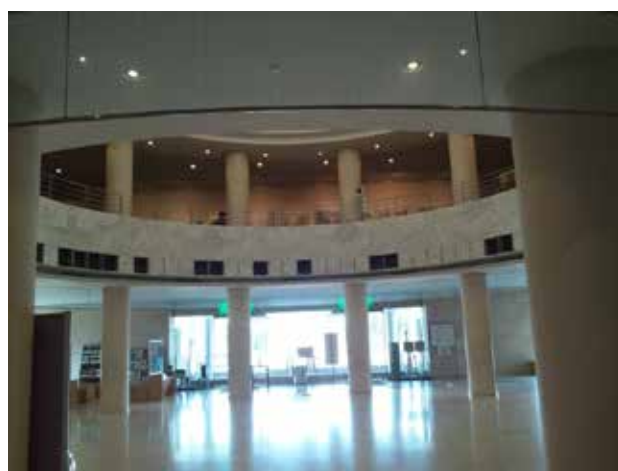
ハーモニーホールふくいで開催された水彩画展「福武線のある風景」は、佐々木さんをお願いして、総会記念講演会に日程を合わせて1週間延長していただいた手前、総会当日は無理なので、前日に行ってきました。松本地区在住の佐々木洋一さんは、うちの「電太君」の知り合いで、招待状も来ており、本人のオレンジの電車で行きたいという希望で、小学3年にもなると自分でダイヤも調べ、赤十字前駅10:28で出かけました。1日フリー切符は、4月135号で紹介した「新型車輛F1000形運行開始記念乗車券」の在庫がまだあったので、それを購入しましたが、しげしげと眺めたりしてなぜか得意げでした。最近ゲームに夢中ですが、FUKURAMが来てからは、電車で行こうということが多くなり、少し鉄ちゃんも戻ったのかな？

途中、開店間際のベル前駅での降車が多く、土日は駅員をおいているようです。また、ハーモニーホール前駅では、いっしょに7,8人降りて、その人たちは他のイベントに行きました。降りるときに、偶然ですが「FUKURAMでB級グルメツアー」中の会員の善光さんと会ったので、展覧会を紹介したところ、あとで楽しまれたようです。

展覧会はこれまでに書きためた100点ほどの福武線の電車を中心とした水彩画ですが、ぐるっと見渡せる円形の2階展示ギャラリーとの雰囲気もぴったりで、楽しい展示会でした。



吹き抜けの2階のサークル状の展示ホール。全体が見渡せて、開放的で使い勝手がよさそうでした。



玄関ホールの吹き抜けを下からのぞくと、それはまたそれでいい雰囲気でした。

展示会が終わってから、帰りのハーモニーホール駅12:19のFUKURAMに乗って、今度は福井駅前まで。1日フリーきっぷなので、行程は自由に変更できてうれしい。お目当ては、Sデパート地下のGアイス。電車の楽しみ方も、まちの楽しみ方も、ちゃあんと知っているんだ。

なお、今回の展覧会は、ハーモニーホール駅で降りるときにチケットを見せるとどこからでも200円となるイベントとして開催され、入場無料なのではがきを見せることにしたそうなのですが、私はあいにく1日フリー切符を買ってしまったので、その確認・検証はできませんでした。いろんな使い方を工夫して、電車で絵画展・コンサートなどもっと広がるといいですね。



作/漆寄 耕次

お伊勢さん参り



おはらい町



伊勢うどん

今年、式年遷宮で注目されているお伊勢さん参りに行ってきました！外宮・内宮の順番に参拝します。伊勢神宮内宮門前町「おはらい町」には、赤福等のお店が並びます。お昼ご飯に食べた伊勢うどんは、太い麺が、醤油ベースの濃いタレに浸かっている癖になる味です。

その後、お伊勢さんに通じる宿場町「関宿」を訪れました。私個人的には、おはらい町よりも、関宿の方が魅力を感じるまちでした。関宿は、おはらい町に比べれば商店こそ多くないですが、その場所に生活している人々の空気を感じることができるまちです。地蔵院の軒下では、子供達がカードゲームにいそしんでいたりと、まちなかの喫茶店には近所の



おばあちゃん達が集まってお茶タイムを楽しんでいます。そのなかに、観光客がまぜていただいているという感じです。穏やかな雰囲気なかで、美味しいお蕎麦をいただきました。その場所に住む人たちが作り出す雰囲気なかで癒される旅になりました。



亀山市 関宿のまちなみ

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「総会にてひさしぶりに会う方も。実際に会って話し合うのも大事ですね」

林(変集長)

「久しぶりの雨。うれしいですね！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>